

事務事業チェックシート

事務事業No 88 事業名 医療費適正化特別対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	4	国民健康保険制度及び後期高齢者医療保険制度の適正な運営

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	国民健康保険法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	国保年金課	亀井 宏和 (435-1057)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	医療費適正化特別対策事業費		
	大事業	医療費適正化特別対策事業		
事項	医療費適正化特別対策事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	毎年増加する医療費の抑制を図る。	和歌山県国民健康保険団体連合会にレセプトの内容点検を委託すると共に、非常勤職員による国保資格の点検を行い医療費の抑制を図る。 ジェネリック医薬品の利用促進に取り組む。				
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	・資格点検、内容点検を実施し再審査請求を行う。 ・年6回の医療費通知の発送。 ・年2回のジェネリック医薬品との差額通知を発送。 ・業者委託による療養費レセプトの内容点検の実施。	・資格点検、内容点検を実施し再審査請求を行う。 ・年6回の医療費通知の発送。 ・年2回のジェネリック医薬品との差額通知を発送。 ・業者委託による療養費レセプトの内容点検の実施。	・資格点検、内容点検を実施し再審査請求を行う。 ・年6回の医療費通知の発送。 ・年2回のジェネリック医薬品との差額通知を発送。 ・業者委託による療養費レセプトの内容点検の実施。	・資格点検、内容点検を実施し再審査請求を行う。 ・年6回の医療費通知の発送。 ・年2回のジェネリック医薬品との差額通知を発送。 ・業者委託による療養費レセプトの内容点検の実施。	・資格点検、内容点検を実施し再審査請求を行う。 ・年6回の医療費通知の発送。 ・年2回のジェネリック医薬品との差額通知を発送。 ・業者委託による療養費レセプトの内容点検の実施。	

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	51,172	47,811	49,701	46,614	58,112	46,163	53,247		53,247	
伸び率 (%)	-	-	▲2.9%	▲2.5%	16.9%	▲1.0%	▲8.4%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	14,353	6,965	6,866	10,086	10,031	11,010	11,010		11,010
	正規職員以外	8,035	6,004	6,037	5,615	5,615	6,289	6,310		6,310
	小計	22,388	12,969	12,903	15,701	15,646	17,299	17,320		17,320
国庫支出金		804		1,091		1,091				
県支出金	17,285	19,521	20,889	17,043	19,616	15,825	15,031		15,031	
市債										
その他										
一般財源 (税等)	33,887	27,486	28,812	28,480	38,496	29,247	38,216		38,216	
所要人数 (人)	正規職員	1.92	0.92	0.90	1.36	1.35	1.39	1.39		1.39
	正規職員以外	3.81	2.85	2.86	2.86	2.86	2.87	2.87		2.87
主な予算内訳	通信運搬費19,245千円 レセプト点検委託料11,417千円 電算共同処理等委託料9,998千円 画像管理委託料9,600千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値	達成度 (%)
活動指標	レセプト2次点検実施数	目標値					
		実績値	1,638,670	1,657,201	1,623,293		
		達成度 (%)					
成果指標	全レセプトの点検実施割合	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	99.9	99.9	99.9		
		達成度 (%)	99.9%	99.9%	99.9%		
		目標値					
		実績値					
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>給付事業の高齢化及び申請件数が増加している現状において、レセプトの点検・再審査による減点及び医療費通知・ジェネリック医薬品の差額通知により、医療費に関心を持ってもらい、自己負担の軽減・医療費全体の抑制につながることを目的とする。</p>
見直し・改善内容	